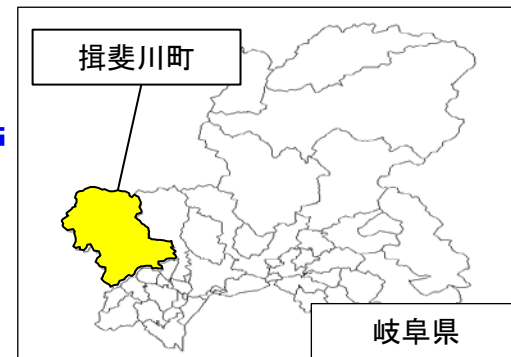


1-④ 岐阜県揖斐川町北方第2工区集落協定

- 法人が中心となり、農用地の利用集積を進め、地域農業を維持する体制を確立しつつ、体験学習や自然生態系保全の取組を実施し、地域住民の連携を向上。

協定面積：8.2ha（全て田） 交付金額：173万円（共同取組活動100%）
協定参加者：農業者41人、（農）揖斐北方営農組合（8人） 協定開始：平成12年度



地域の現状

- 当地区は、岐阜県最西部の揖斐川町を流れる揖斐川沿いに広がる扇状地域の傾斜地に位置し、主に水稻を栽培。
- 平成12年から本制度に取り組んできたが、農業者の高齢化により、将来の担い手不足が懸念されたことから、農地を安定的に利用するため、平成17年に農事組合法人「揖斐北方営農組合」を設立。
- 平成21年から法人が協定に参加し、集落内で作成した人・農地プランにおいても「地域の中心経営体」として位置づけ。



【協定農用地】



【排水路の草刈り】

取組の概要

- 法人が、協定農用地の利用権設定・作業受託により、協定農用地の約4割を引き受け、水稻、小麦、大豆を作付け、農地の安定的利用を推進。（農用地の引き受け面積 H22：1.0ha → H27：3.5ha）
- 共同取組活動として、年3回（4，6，9月）の農道・水路の共同草刈りを行っているほか、自然生態系保全の取組として、自治区や老人クラブと連携した地元小学生の田植え・稲刈り体験、収穫祭、ほたるの観察会、カワニナ放流などのイベントを開催。



【地元小学生の田植え体験】



【カワニナ保全活動】